



日本共産党 品川区議会議員 区政報告 のだて 稔史

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せ下さい。

能登半島地震の教訓を活かし 被害を防ぐ予防策の強化を

上水道耐震化率

石川県（2021年度）36.8%



品川区（2022年度）47%



上下水道の耐震化

石川県の発表（5／8）によると4ヶ月以上経った今でも避難所に避難している方は4130人、断水は約3110戸におよびます。住宅被害は78937棟で解体なども進まず、そのまま建物が残っている状況です。

同様の被害を品川区で起こさないために予防策の強化が必要です。

未だに能登半島地震による断水

が続いている背景には水道の耐震化の遅れがありました（左上参照）。

断水により被災生活に困難をもたらししています。炊事、洗濯、風呂、トイレも使えません。診療所などでも「洗濯ができずに困っている」との声もありました。

区内の耐震化率は47%で石川県よりは進んでいますが、半分以上が耐震化できていません。

東京都の計画では水道は2030年度末までに61%の目標しかなく、100%の目標がありません。

下水道にいたっては計画自体がありません。工事費用は水道料金でまかなわれており、費用が増えれば水道料金に跳ね返ってくるしくみになっています。

水道料金でなく公費を投入して耐震化を進めることを都に求めるよう区に要望しました。しかし区は「都が計画的に進めている」というばかりです。ウラへ続く

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、38歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

トイレの確保

トイレの問題は深刻です。これまでの大震災でも問題になりましたが、能登でも繰り返し返されました。今年度、簡易トイレを全区民に1人20個（3日分）配布することになったのは一歩前進です。

トイレに行くことは生理現象で止めることはできません。我慢するとエコノミークラス症候群の原因にもなり、命に関わります。区民避難所の耐震化トイレは各1か所、マンホールトイレはくみ取り式がほとんどで、公園内も下水道直結型は6か所・70基のみ。

共産党は下水道直結式のマンホールトイレを増やすよう求めました。区は「学校改築の際に整備している」「公園改修時に技術的検証を行い、検討する」と答弁。改築・改修時だけでなく早期の整備が必要です。

住宅の耐震化

能登半島地震では住宅被害も深刻でした。石川県内で全壊が8248棟、半壊が16325棟もあり、全体の3割にもなりました。

区内でも耐震化が急務です。特に木造住宅の耐震化は遅れています（左図参照）。支援を強化し耐震化を進めて行く必要があります。これまで防災は自己責任が押し付けられてきました。能登の惨状を見ても、予防策の強化で自治体・国の役割発揮が求められています。

住宅の耐震化率

木造住宅80.2%



区内住宅91.1%



活動報告



▲5/7に原水爆禁止国民平和大行進が品川区内を通り、参加しました。核兵器をなくす取り組みの一つで全国各地から出発し、広島・長崎まで歩きます。今年は生憎の雨でしたが、元気よく「核兵器なくそう」とコールしました。非核平和都市宣言を行っている品川区から声を上げていきましょう！



▲5/3の憲法記念日に憲法大集会が行われ、参加しました。いま憲法の平和主義が脅かされている下で軍事費拡大ではなく暮らしに回せと声を上げていきましょう。

法律相談

無料

6月11日（火） 午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。Tel 3786-6674



▲ニュースのバックナンバーはこちらから